

# 財形住宅融資申込書 記入例

財形住宅融資申込書の裏面には「個人情報の取扱いに関する同意事項」の記載があります。  
(融資申込書裏面1, 3, 4, 5枚目は財形住宅金融株式会社、2, 5枚目は当社の指定する保証機関になります。)

## 記入方法

- 申込書は複写式(5枚)となっております。強く押さえて太枠内を記入してください。
- 1枚目から3枚目までに押印してください。5枚目はお客様控になります。

## 〔申込人欄の記入例〕

フリガナ	サイケイ タロウ	性別	①男	⑤昭和	生年月日	46030940	年齢	40	
氏名	財形太郎	印	②女	⑦平成	現在財形住宅融資を利用	①している	②していない	新しい住居	
〒	227-0062	神奈川県	自宅	(045) 424-****	電話の連絡先に優先順位をご記入下さい	(1)携帯 (2)勤務先 (3)自宅	E-mail	t.zaikei@0000.ne.jp	
現住所	横浜市青葉区青葉台〇丁目〇番〇号 青葉台パレス4-〇〇〇								
現在の住居	①持家(共有を含む) ②持家以外			今回の住宅は、①建て替え ②建て替え以外					
家族構成	氏名 財形花子 続柄 妻 年齢 36			氏名 財形一郎 続柄 長男 年齢 10			氏名 財形京子 続柄 長女 年齢 8		
勤務先	財形商事(株)赤坂支店 (出向元 財形建設(株))			所属部署		営業部販売課		役職	係長
〒	107-0052			東京都		港区赤坂〇丁目〇番〇号			

- 申込者ご自身でご記入の上、1~3枚目まで押印してください。
- 当社からのご案内及び手続き書類の送付先になります。(郵便番号は必ずご記入ください)  
・現在の住居の種類をご記入ください。自ら所有(配偶者、親族との共有を含む)以外は「②持家以外」になります。
- 融資住宅に入居する家族についてご記入ください。  
・本社名、事業所名(現在の勤務所在地)をご記入ください。出向の場合は、出向元もご記入ください。

## 〔年収欄の記入例〕

本人	5000	合算者	氏名	財形花子	年齢	36
所得合算可能年収	2500	合算者の税込年収(前年)	3210			
合計	7500	本人との関係	妻	勤務先	△△物産	

所得合算は、本人の年収のみでは年間返済比率を満たすことができない場合にご利用いただけます。(別途提出書類有)  
・合算者は、原則として配偶者・実親・実子に限ります。  
・所得合算可能年収は、下記の通りとなります。  
〔合算者も本件につき融資を受ける場合(財形以外も含む)〕  
合算者の税込年収全額  
〔合算者が本件につき融資を受けない場合〕  
「合算者年収」又は「本人年収の1/2」(いずれか低い方)

- 「給与証明書」に記載された前年年収をご記入ください。  
・ご本人の年収のみでは年間返済比率を満たすことができない場合に所得合算者の所得合算可能年収をご記入ください。  
・所得合算者も融資を申込む時は所得合算者の年収をそのまま記入してください。(てびき P.49 参照)

## 〔財形貯蓄欄の記入例〕

財形貯蓄機関名	平成銀行	貯蓄開始日	⑤昭和 年 月 日	7 0 4 2 0	貯蓄残高	1686
	中央生命保険		⑦平成 年 月 日	7 1 0 2 0		390
			⑤昭和 年 月 日			
			⑦平成 年 月 日			
						2076

- 「財形貯蓄残高証明書」に記載された「貯蓄開始日」をご記入ください。(不明の場合は財形貯蓄先金融機関へご確認ください)

## 〔借入金額欄の記入例〕

借入金額	20000	返済方式	①元利均等	借入期間	30年	ボーナス併用払の有無及び返済月日	①ボーナス併用払をする(有) ②ボーナス併用払をしない(無)
内	10000		②元金均等				①6月7日と12月7日 ②7月7日と1月7日 ③8月7日と2月7日
返済分	10000						

住宅販売(工事請負)会社名  
青空ハウス販売(株)横浜支店  
担当者名 山田  
Tel (045) 254-\*\*\*\*  
Fax (045) 254-\*\*\*\*  
携帯 (090) 6483-\*\*\*\*

- 「ボーナス返済分」は「借入金額」の1/2以下にしてください。(原則5万円単位可)
- 「②元金均等」はご勤務先の規定等によりご利用いただけない場合があります。
- 借入期間は住宅「種類」、「構造」、「適合要件」(右ページ【借入期間の一覧】参照)により異なります。  
(最終返済時の年齢が満75歳を超えないようご注意ください)  
・ボーナス返済月は勤務先の規定等により変更になる場合もございます。

## 〔借入期間の一覧〕

住宅の種類	住宅の構造・適合要件 (建設業者・不動産業者に確認してください)	借入期間
新築	耐火(一般)・性能耐火(耐久性有)・準耐火(一般)・高性能耐火・木造(耐久性)	35年以内
中古マンション	リ・ユースマンション	維持管理及び耐震性に関する基準に適合する住宅 25年以内
	リ・ユースプラスマンション	維持管理、耐震性及び劣化状況に関する基準に適合する住宅 35年以内
中古1戸建等(マンション以外)	リ・ユース住宅	耐震性及び劣化状況に関する基準に適合する住宅 25年以内
	リ・ユースプラス住宅	耐震性、劣化状況及び耐久性に関する基準に適合する住宅 35年以内
改良	すべての構造	20年以内

## 〔融資の種類欄の記入例〕

①住宅新築(土地代は含まず) (建築主が申込人の場合です)	⑤土地取得代金を含む住宅新築 (建築主が申込人の場合です)	9
②新築住宅購入 (建築主が業者の場合です)	①建売住宅 ②マンション	
③中古住宅購入 (登記上の新築日)	⑤昭和 年 月 日 ⑥リ・ユース ⑦リ・ユースプラス	10
④住宅改良 (増築、改築、修繕等)	建築確認申請が必要な改良工事ですか? ①必要 実行書類提出時に、検査済証の提出が必要です。 ②不要 申込時に工事前の写真、実行書類提出時に工事後の写真・工事完了届が必要です。	11

- 融資の種類に をしてください。住宅新築で土地取得代金を所要額に含める場合は「⑤」に をしてください。
- 「③中古住宅購入」の場合は建物登記簿(抄)本表題部に記載されている「原因及びその日付」欄の日付を記入してください。
- 増築、改築、修繕等の区別はてびき P.31 参照。

## 〔建物欄の記入例〕

①共同建(マンション)	2階建	①専用住宅	①耐火構造(一般) ②高性能耐火構造 ③準耐火構造(一般) ④木造(耐久性) ⑤木造(一般) ⑥性能耐火構造(耐久性有) ⑦性能耐火構造(耐久性無)	⑤昭和 年 月 日	⑥リ・ユース	⑦リ・ユースプラス	10
②一戸建		②併用住宅等 (店舗・アパート部分等を有する住宅)					
③重ね建							
④連続建							

車庫付住宅は、車庫部分を除いた住宅部分の面積を記入して下さい。

床面積	うち住宅部分 (併用住宅のみ)	うち住宅改良部分 (改良のみ)	バルコニー等 (マンションのみ)
102.50 m <sup>2</sup>			

- 「③重ね建」とは、世帯用住宅を重ねて建てる建て方です。(例えば、一階が申込人の住宅、二階が親の住宅など)  
「④連続建」とは、テラスハウスやタウンハウスなどのように世帯用住宅を連続して建てる建て方です。
- 店舗、事務所、賃貸部分等を有する住宅の場合に をしてください。  
(マンションで共用部分として1階に店舗、事務所を有する場合を除く)
- 住宅構造については住宅会社に確認してください。
- 平面図や建築確認申請書に記載の延床面積を に記入してください。  
車庫付住宅の場合は車庫部分を除いた住宅部分の面積を記入してください。  
併用住宅等の場合、 の欄に住宅部分の面積を記入してください。  
住宅改良の場合は、改良後の総床面積を に記入してください。 の欄に改良部分の面積を記入してください。  
マンションの場合は、バルコニー・バルコニーの面積を に記入してください。

購入地、建設地	鉄道(JR東海道線 横浜 駅)から	バス( )分 → バス停( )下車( )分
最寄り駅からの交通	徒歩(15)分	

- 購入地、建設地の最寄り駅からの交通手段を記入してください。

